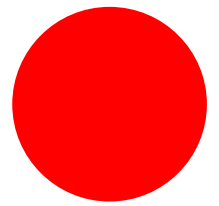


【世帯番号 1】



Aさん

【女性：74歳】

①介護認定：要介護5

②病名：筋萎縮性側索硬化症（ALS）

③服薬状況

1日2回内服あり（錠剤一包化）

簡易懸濁（胃ろう投与）※お湯必要

④介護サービス

訪問看護師、薬剤師、訪問入浴

24時間ヘルパー、ポータブルトイレ

⑤特記事項

夜間のみBiPAP使用※電気必要

経口摂取不可（胃ろう経管栄養）

⑥発災後の状況

訪問中だったヘルパーと音信不通

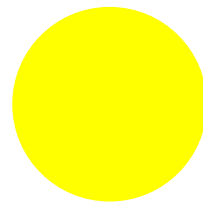
⑦家族

娘：京都市内車で40分に居住

未就学児2名あり

②

【世帯番号 1】



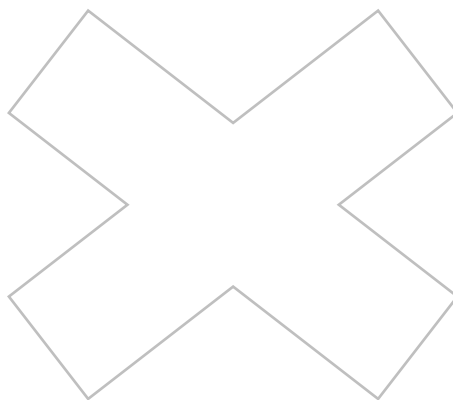
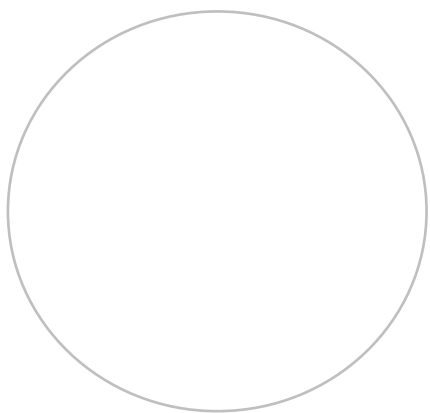
Aさん

【女性：74歳】

S：安全確認

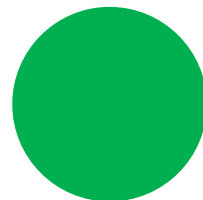
訪問時、住居の状況

- ▶ マンション1Fに居住
- ▶ マンション外壁に亀裂が見られる
- ▶ 建物の傾斜や沈下は見られない
- ▶ ドアや窓にゆがみは見られない
- ▶ マンション周辺の地面に亀裂あり



③

【世帯番号 1】



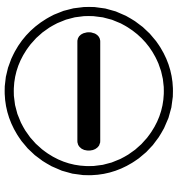
Aさん

【女性:74歳】

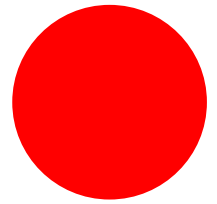
訪問時の状況

電気、水道、ガス使用不可

- ▶ Aさん、ヘルパー共に無事を確認。
(ヘルパーの携帯電話はバッテリー切れの為、連絡が取れなかった)
- ▶ ヘルパーの帰宅時間はとっくに過ぎており、交代要員が来るのを待っていた。すぐにも帰ろうとしている。
- ▶ 内服薬は簡易懸濁(55°Cのお湯)ができない状況で投与できていない
- ▶ 停電で就寝中のBiPAPが使用できず低酸素血症になる恐れあり



【世帯番号 2】



Bさん

【女性：80歳】

①介護認定：要介護3

②病名：パーキンソン病

③服薬状況

1日8回内服薬あり、エンシュアH
(お薬カレンダー2か所に設置)

④介護サービス

訪問看護師、薬剤師、訪問リハビリ
ヘルパー、デイサービス(週2回)

⑤特記事項

自立歩行困難(外出は車いす使用)

⑥発災後の状況

電話が繋がらず安否不明

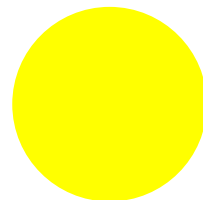
⑦家族

夫と同居(Cさん：軽度認知症)

息子：京都市内車で50分に居住

②

【世帯番号 2】



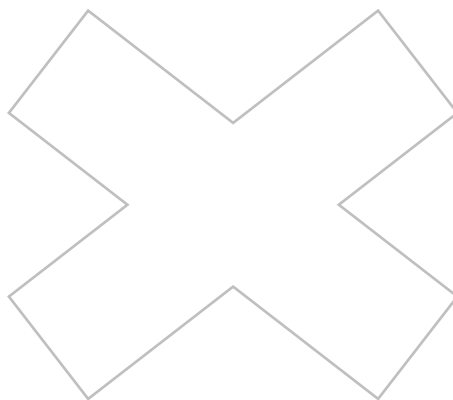
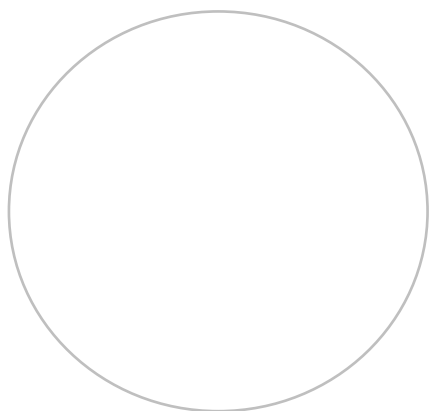
Bさん

【女性：80歳】

S：安全確認

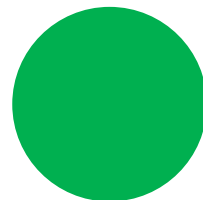
訪問時、住居の状況

- ▶ 木造平屋家屋に居住
- ▶ 玄関の引き戸にゆがみがあり開けることができない
- ▶ すぐ近くの道路に亀裂があり、水漏れが見られる



③

【世帯番号 2】



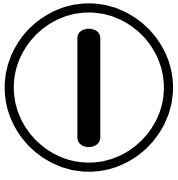
Bさん

【女性：80歳】

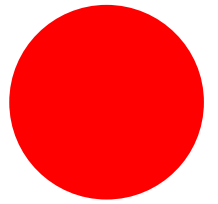
訪問時の状況

水道、ガス使用不可

- ▶ 玄関から大声で呼びかけると、庭の方から夫が出てきた。大窓からは出入りができる。
- ▶ Bさんはベッドで横になっており無事だが、同室のタンスが倒れて夫もベッドにたどり着けない様子。
- ▶ 今朝から食事・水分、内服薬も摂取できていない。



【世帯番号 2】



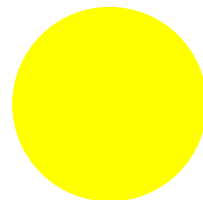
Cさん

【男性：82歳】

- ①介護認定：要介護1
- ②病名：高血圧、慢性心不全
軽度アルツハイマー型認知症
- ③服薬状況
1日2回内服薬あり（一包化）
- ④介護サービス
ヘルパー、配食サービス（夕おかず）
- ⑤特記事項
家事は妻に頼りきりだったため、
妻の病気発症後も家事はできない
- ⑥発災後の状況
電話が繋がらず安否不明
- ⑦家族
妻と同居（Bさん：パーキンソン病）
息子：京都市内車で50分に居住

②

【世帯番号 2】



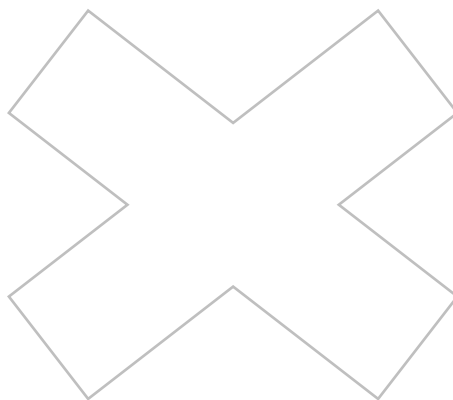
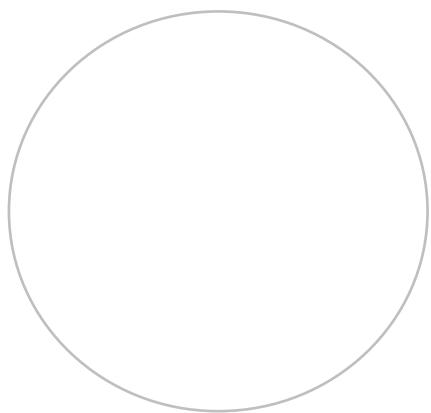
Cさん

【男性：82歳】

S：安全確認

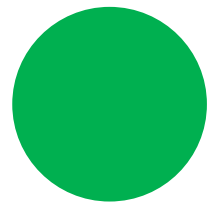
訪問時、住居の状況

- ▶ 木造平屋家屋に居住
- ▶ 玄関の引き戸にゆがみがあり開けることができない
- ▶ すぐ近くの道路に亀裂があり、水漏れが見られる



③

【世帯番号 2】



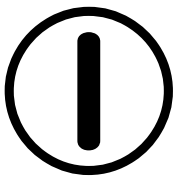
Cさん

【男性:82歳】

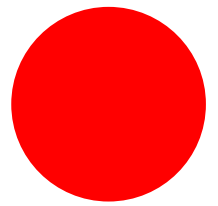
訪問時の状況

水道、ガス使用不可

- ▶ 元気で動き回れるが、部屋に散乱しているガラスで足裏を深く負傷。自分で布を巻いて止血したようだが、内服薬（ワーファリン）の影響もありかなりの出血が見られる。
- ▶ 妻が心配だが、自分一人ではどうする事も出来ず呆然としている。
- ▶ 食事は摂れているようだが、薬は服用できたかどうか不明



【世帯番号 3】



Dさん

【女性：70歳】

①介護認定：要介護2

②病名：胃がん末期、腹膜播種

③薬剤使用状況

持続皮下注射（モルヒネ・ステロイド）

※充電バッテリーで作動している。

④介護サービス

訪問介護、往診、訪問看護師、薬剤師、
ベッド、手すり

⑤特記事項

自宅1階フロアーは伝い歩きできる。

腹水貯留で労作性の呼吸苦がある。

⑥発災後の状況

電話つながらず安否不明。

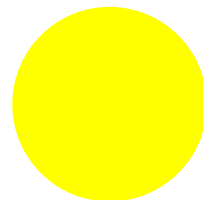
⑦家族

青果店を自宅で営む夫と同居。

北区在住仕事有、小学生2人の子どもが
いる娘が週末通いで介護。

②

【世帯番号 3】



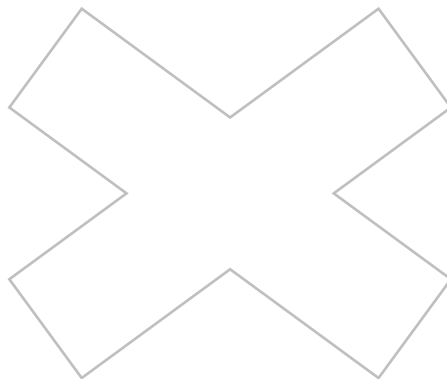
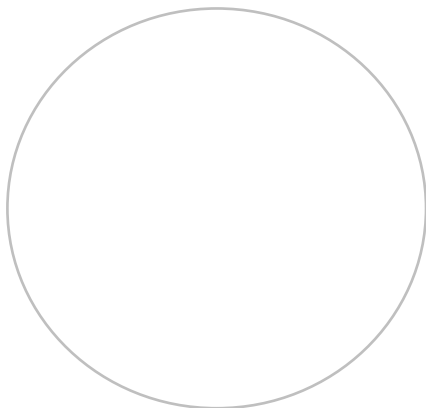
Dさん

【女性：70歳】

S：安全確認

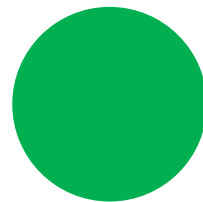
訪問時、住居の状況

- ▶ 店舗兼自宅で居住
(店舗の横の間と2階が居住空間)
- ▶ 玄関の歪みは認めず。店舗棚、果物が散乱、店横のDさん居室はタンスが倒れている。
- ▶ 建物の傾斜や沈下は見られないが壁面に大きな亀裂がある。



③

【世帯番号 3】



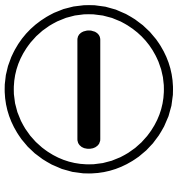
Dさん

【女性:70歳】

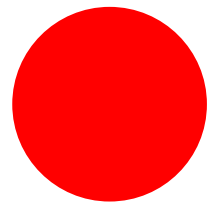
訪問時の状況

電気、水道、ガス使用不可

- ▶ Dさん・夫 共に1階で無事を確認。
- ▶ 持続皮下注射の機械バッテリーが残45%、(2日分ほど)薬液も残り2日分ほどと夫が教えてくれたがご夫婦とも薬液とバッテリーがなくなる不安が大きい。
- ▶ Dさんが「トイレ(排便)に行きたい」と訴えた。
- ▶ 水分や果物を口にして、脱水はない様子だが、室温が上昇してきている。



【世帯番号 4】



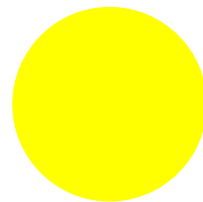
Eさん

【男性：83歳】

- ①介護認定：要介護Ⅰ
- ②病名：血管性認知症、高血圧症、
両変形性膝関節症
- ③薬剤使用状況
お薬カレンダー1日1回、訪看管理
- ④介護サービス
通所介護、訪問介護、配食サービス、
訪問看護
- ⑤特記事項
杖歩行レベル
- ⑥発災後の状況
電話つながらず安否不明。
- ⑦家族
独居。妻は認知症で施設入所中。
大阪の長女が毎週週末支援に来る。

②

【世帯番号 4】



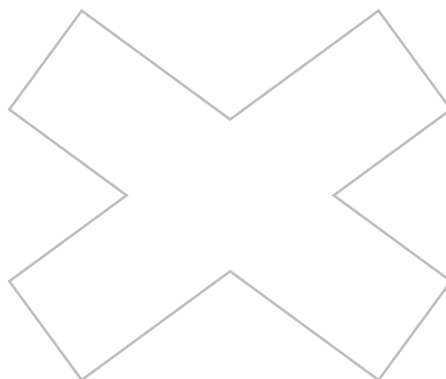
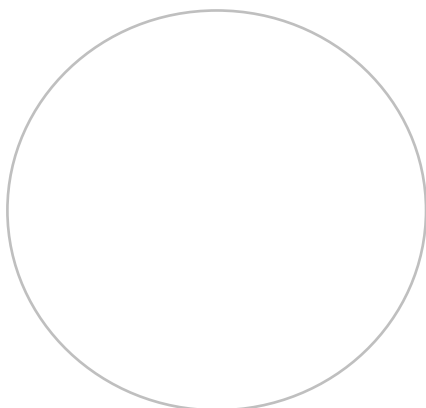
Eさん

【男性：83歳】

S：安全確認

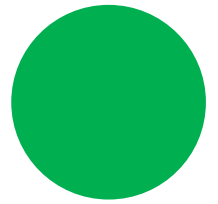
訪問時、住居の状況

- ▶ 鉄骨アパートの1階で生活。
- ▶ 玄関の歪みは認めず。
- ▶ 建物の傾斜はない。壁の亀裂と一部崩落がある。前の道の隆起や地割れ、沈下がある。建物の横電柱が倒れている。



③

【世帯番号 4】



Eさん

【男性:83歳】

訪問時の状況

電気、水道、ガス使用不可

- ▶ 玄関を開けると、Eさんの声が聞こえた。「無事だけど、昨夜からのどが痛くて咳も出るし熱があるみたい」。
- ▶ ベッドの上でEさんは無事だが、ベッド手前のタンスやテレビ、食器棚が倒れ、ガラスも床に散らばっている。
- ▶ 「喉が渴いて水が飲みたい」とEさんが訴えた。